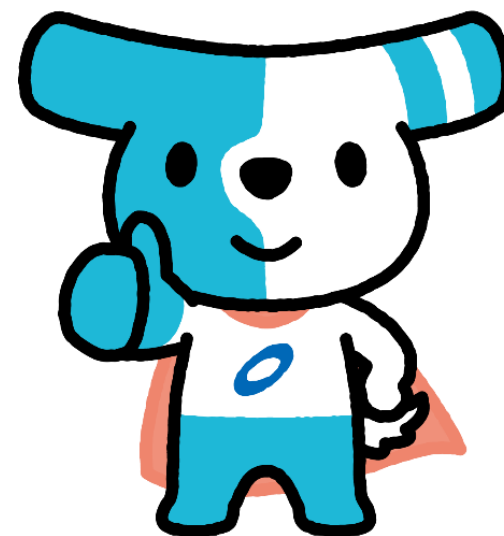


はじめてのでんさい ～支払利用編～

株式会社全銀電子債権ネットワーク（でんさいネット）



でんさいキャラクター「でんさい犬」
（「電(でん)子記録債権(さいけん)」が由来）

1

でんさいの利用までの流れ

2

利用準備(支払利用)

3

事例紹介(支払企業)

4

ウェブサイトの活用

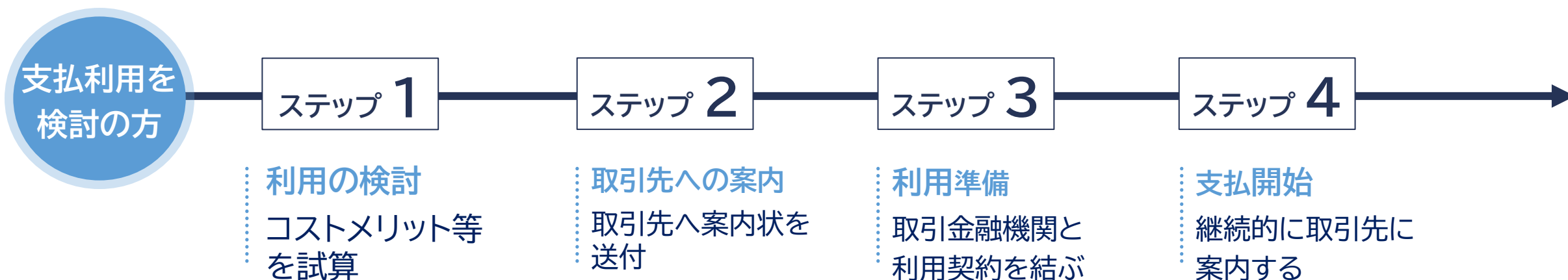
5

よくある質問(支払企業)

- でんさいの支払は以下の簡単な4ステップで利用可能です。

(関連コンテンツについて、次ページでご紹介します)

でんさい利用開始までの主な流れ



POINT

でんさいを検討する主なきっかけ

- ◎ 全面的な電子化の報道等を踏まえ、社内で導入の指示があった
- ◎ 取引先/取引金融機関からでんさいへの切替案内があった

でんさいの利用までの流れ

でんさいウェブサイト 「ご検討からご利用開始まで」 ページ

必見

「ご検討からご利用開始まで」 ページ

チェックリスト（詳細版）イメージ

でんさいのはじめ方を知ろう！

でんさいで支払いたい
支払利用の流れ

でんさいで受け取りたい
受取利用の流れ

でんさいの支払利用には、①「利用の検討」②「取引先への案内」③「利用準備」④「支払開始」の4つのステップがあります。
「支払利用に関するチェックリスト」を参考にはじめてみましょう。

STEP 1 利用の検討

- でんさいに切り替えた際のコストメリットを試算しましょう
- 取引先がでんさいを利用しているか確認しましょう
- でんさい支払開始までのスケジュールの立案や支払条件を検討しましょう
- 社内事務・会計システムの確認をしましょう
- 利用について社内決定をしましょう

コストメリットを試算してみる

取引先のでんさい利用状況を確認してみる

STEP 2 取引先への案内

- 取引先にでんさい切替の案内状を送信しましょう
- 取引先からの回答を取りまとめましょう

案内状サンプルを確認する

案内をメールで送りたい方はこちら

STEP 3 利用準備

- 取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう
- でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう（初期設定）
- 社内事務・会計システムの整備をしましょう

取引金融機関を確認する

STEP 4 支払開始

- 本格的にでんさいでの支払を開始する前に、試しにグループ企業や親密先に支払を試みましょう。

支払の流れを確認する

チェック項目についてさらに詳しくまとめたPDFです！

支払利用に関するチェックリスト（詳細版）をダウンロード

【支払利用に関するチェックリスト】

でんさいの支払利用を始めるにあたり必要となる作業の一覧です。各項目の作業が終わったら、チェックをしましょう。

STEP 1 利用の検討

項目	作業内容	チェック
① コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	☐
② 社内事務・会計システムの確認	でんさい支払開始までのスケジュールを立案しましょう。 手形支払と比較した場合の支払条件を検討しましょう。 社内事務を確認しましょう。 会計システムを確認しましょう。	☐
③ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	☐

STEP 2 取引先への案内

④ 取引先への案内	取引先にでんさい切替の案内状を送信しましょう。	☐
⑤ 回答の取りまとめ	取引先からの回答を取りまとめましょう。	☐

STEP 3 利用準備

⑥ でんさいの利用契約	取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう。	☐
⑦ 初期設定	でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう。 STEP2で取りまとめた取引先の情報を登録しましょう。	☐
⑧ 社内事務・会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	☐

STEP 4 支払開始

⑨ 支払テスト	試しにグループ企業や親密先に支払を試みましょう。	☐
---------	--------------------------	--------------------------

本格的に支払開始

※ 社内決定
でんさいの移行によってコスト削減、事務効率化、リスク削減が図れる点などを挙げて、社内全体で意思を統一し進めていくことが重要です。また、社内勉強会を実施するなど、自社がでんさいを取り入れるメリットを予め共有することで、業務手帳が変更となる部署等との調整がスムーズになります。

- 「何から始めたらいいのかわからない」という方は、こちらのコンテンツをご確認ください。
- でんさいの導入までの流れをフロー図で説明しており、全体像をイメージできます。
- でんさいの導入にあたってやるべきこと、活用できるコンテンツ、留意点などを時系列で確認できる「チェックリスト（詳細版）」をダウンロードできます。

1

でんさいの利用までの流れ

2

利用準備(支払利用)

3

事例紹介(支払企業)

4

ウェブサイトの活用

5

よくある質問(支払企業)

2 利用準備(支払利用 ステップ①)

支払開始までのステップ

STEP 1 利用の検討



コストメリットの試算

手形とでんさいの諸費用を確認
※金融機関によって異なります。



社内事務・会計システムの確認

でんさい支払開始までのスケジュールの立案や
支払条件等の検討、支払事務・会計処理等の確認



検討開始・社内決定

社内全体で意思を統一し、メリット等を共有

2 利用準備(支払利用 ステップ②)

支払開始までのステップ

STEP 2
取引先への
案内



取引先への説明・意向確認

案内状を F A X 送信または手形郵送時に同封



回答の取りまとめ

取引先の「利用者番号」と「決済口座情報」を集計・管理

2 利用準備(支払利用 ステップ③)

支払開始までのステップ

STEP 3 利用準備



でんさいの利用契約締結

取引金融機関へのお申込み、
(すでに契約済みの場合) 契約形態(支払者)としての利用可否等の確認



初期設定

でんさいを取扱う権限者等の設定、取引先情報の登録



社内事務・会計システムの整備

STEP 1 をもとに、各種整備

2 利用準備(支払利用 ステップ④)

支払開始までのステップ

STEP 4 支払開始



- ☑ (可能であれば) グループ企業や親密先への支払実施
試験的にでんさいの発生（振出）を行う

▶ 本格稼働

(支払開始後)

- ☑ 他の取引先への案内
- ☑ 既存の手形支払先への継続的案内

支払利用における対応の流れ

対応事項(例)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	～
検討開始・社内決定	→						
取引先への説明・意向確認		→					
でんさいの利用契約締結			→				
初期設定				→			
社内事務・会計システムの整備				→			
グループ企業や親密先への支払実施					→		
本格稼働						★	

- でんさいの支払開始には、検討開始から概ね
1か月～6か月程度要
しています。

※対応事項および期間は、経理処理方法（自動消込の要否）、導入している会計ソフト（でんさい対応の要否）等により異なります。

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払企業)
3	事例紹介(支払企業)
4	ウェブサイトの活用
5	よくある質問(支払企業)

A株式会社 ・ 業種：総合建設業 ・ 設立：1951年

でんさい導入のきっかけ

でんさいの利用が全国各地で広まっているとの情報を経営陣が入手

経営陣がトップダウンででんさい導入を指示

導入に向けて

- ☑ 担当部署（管理部）が金融機関から説明を聞いたうえで、社内態勢を整備
- ☑ 取引先説明会を利用し、社外調整を実施

- トップダウンででんさい導入の指示を受けたため、検討開始から短期間で正式決定となった。

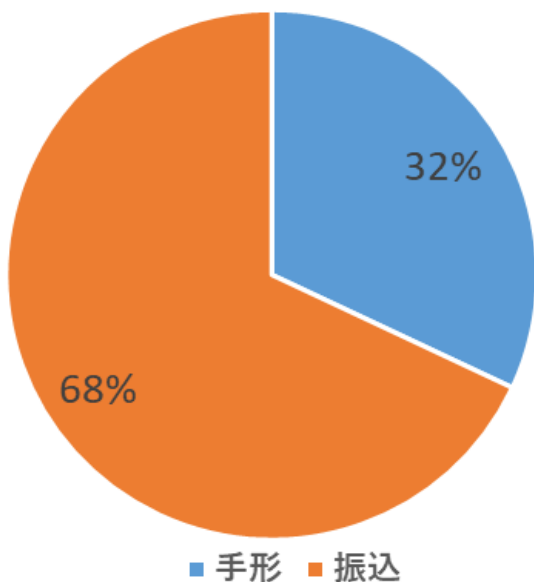
時 期	概 要
2017年 1 月	経営陣からでんさい導入の指示
2017年 2 月	金融機関からでんさい導入の説明
2017年 3 月	社内検討のうえ、支払手段としてでんさいへの切替を正式決定
2017年 6 月～ 2017年 8 月	・取引先説明会の開催 ・取引先へ案内状・アンケートを送付・回収 (希望金融機関を併せて確認)
2017年10月	会計システムの対応、動作確認
2018年 1 月	でんさい利用開始

事例紹介(支払企業)

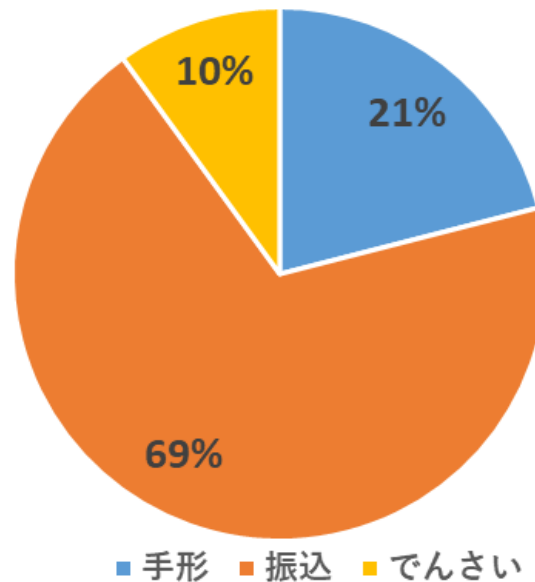
- 支払手形の約1/3をでんさいに移行でき、期待以上の効果を得られた。
- 導入後も支払通知書にでんさいの案内状を毎回添付することで、月1～2件ずつ支払先にでんさい切替の同意をいただいている。

支払方法 (件数割合・単月)

導入前



導入後



A株式会社 ・ 業種：総合建設業 ・ 設立：1951年

でんさい導入効果

- コスト面では月15,000円のコスト削減。お金を生み出さない管理部門がでんさい導入により、コスト面で自社に貢献。
- 事務の作業量が減少したほか、手形による紛失・書き損じ等のリスクが無くなり、事務員の精神的ストレスの軽減につながっている。

コスト (単位：万円・単月)

	コスト増減
手形印紙代	▲6.5万円
発生記録手数料	+5万円
合計	▲1.5万円

A株式会社 ・ 業種：総合建設業 ・ 設立：1951年

最後に

- でんさいは、最初はとっつきにくいイメージがあるかもしれませんが、やってみると案外簡単です。
- また、でんさいを利用する方が増えると一層便利になるため、地域一丸で進めていくとより効果的です。
- ペーパーレス化などと言われている今だからこそ、でんさい導入の効果を社内全体でご理解いただき、経営者の方が率先して、でんさい導入を押し進めてください。

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(支払利用)
3	事例紹介(支払企業)
4	ウェブサイトの活用
5	よくある質問(支払企業)

「でんさいとは」ページ

(画面イメージ)



- でんさいのメリットなどを事例紹介を交えて紹介しています。
- 「でんさいアカデミー」では、でんさいのリーフレットやチラシ等を紹介しており、**無償で配付**しています。
※送料もでんさいネットが負担
- でんさいに関する動画も掲載しており、いつでも視聴が可能です。

無償配付中のツール

- ・リーフレット（はじめての方向け）
- ・導入案内チラシ（手形ご利用者向け）
- ・マンガ冊子（より簡単にでんさいを知りたい方向け）
- ・パンフレット（より詳しく知りたい方向け）

4 ウェブサイトの活用(コスト診断)

「コスト診断」ページ

(「かんたん版」の画面イメージ)

かんたんコスト診断 しっかりコスト診断

手形枚数選択 留意事項・算出条件はこちら

現在の御社の手形取扱いに近い枚数をご選択ください

支払手形 (月間)	0枚	10枚	30枚	50枚	100枚
取立手形 (月間)	0枚	10枚	30枚	50枚	100枚
裏書譲渡 (月間)	0枚	10枚	30枚	50枚	100枚

コスト診断結果 診断結果を印刷する

年間 **53,040円** のコスト削減

手形のコスト	120,360円
でんさいのコスト	67,320円

約 **44.1%** 削減

コスト (年間)

- 手形からでんさいに切り替えた際のシミュレーションツールを2種類（「**かんたん版**」と「**しっかり版**」）掲載しています。
- 「かんたん版」は3種類の手形取引について取扱枚数に近い選択肢を選ぶ（3クリック）だけでコスト削減額（概算）を算出、「しっかり版」は印紙税や郵送費などについて自社の金額を入力することで、詳細なコスト削減額の算出ができます。

※手数料は各金融機関ごとに異なります。詳しくは取引金融機関にお問い合わせください。

「お取引先でんさい利用状況検索サービス」ページ

（画面イメージ）

- **企業のでんさいの契約有無を確認できる**コンテンツです。
- 取引先にてんさいの案内をする前に、企業が自ら取引先の契約の有無を確認できるので、企業間で**調整の手間の省力化が可能**となります。

【利用手順】

- ① 利用規約を確認。
 - ② 法人名称を入力し登記住所（都道府県/市区町村）を選択（郵便番号を入力でも可）。
 - ③ でんさいの利用契約があれば、法人名、登記住所等が表示※。
- ※個人事業者および検索対象からの除外をでんさいネットに申し出ている法人は検索の対象外

「導入サポート」ページ

（案内状サンプルの画面イメージ）

案内状サンプル

取引先に対し、でんさい切替の案内の際にご利用いただける案内状サンプルを用意しております。
事業者さまのご利用用途からお選びください。

支払利用

受取利用

支払方法変更に関する案内状サンプル

支払企業（債務者側）から納入企業（債権者側）に対して、「でんさい」への支払方法の変更について意向を確認するための案内状サンプルです。
※簡易版は、詳細版の内容を1枚に集約したものです。

【詳細版】ダウンロード

【簡易版】ダウンロード

記入例はこちら

支払方法変更開始時期の案内状サンプル

案内状を送付した納入企業（債務者側）に対して「でんさい」へ

ダウンロード

記入例はこちら

支払方法変更に関する説明会の案内状サンプル

支払企業（債務者側）から納入企業（債権者側）に対して、支払企業主催の「でんさい」の支払方法変更に関する説明会の開催を案内するための案内状サンプルです。

ダウンロード

- 取引先に対し、でんさいへの切替を案内する際にご利用いただける「案内状サンプル」を用意しています。
- ご利用用途に合わせたフォーマット（ワードファイル）をダウンロードし、記入例（PDFファイル）を参考に、簡単に案内状を作成いただけます。
- 同ページでは、案内状サンプルのほか今後開催予定のセミナー等も掲載しています。

案内状のサンプル（支払企業⇒受取企業）

支払方法変更に関する案内状サンプル【詳細版】（記入例／赤字箇所）
（支払企業⇒受取企業）

20XX年5月10日

お取引先 各位

株式会社大銀電気

「でんさい」による支払に関するご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、お取引先様への代金の支払について、約束手形および小切手を利用しておりましたが、政府における2026年までの約束手形・小切手の利用廃止の方針を受け、弊社においても20XX年8月以降、ご同意いただいたお取引先様との間のお取引について、「でんさい」による支払を開始させていただくことを予定しております。

※「でんさい」による支払条件については、別紙1「『でんさい』での支払条件について」をご参照ください。

弊社が新たな支払方法として採用する「でんさい」は、約束手形や小切手等に代わる決済手段として、株式会社全銀電子債権ネットワーク（通称「でんさいネット」）が提供する電子記録債権であり、利用メリットの高い決済手段でございます。

※「でんさい」の利用イメージおよびメリットについては、別紙2「でんさいについて」をご参照ください。

回答書のサンプル（受取企業⇒支払企業）

受取企業⇒支払企業

別紙3

20XX年5月29日

株式会社大銀電気 総務部 宛

貴社名	株式会社全銀製作所			
住所	東京都千代田区千代田12345			
ご担当課名	経理部	ご担当者名	山本	
電話番号	03-1234-5678	FAX番号	03-1234-5678	

「でんさい」の受取に関する回答書

1. 【○】 今後「でんさい」で受取るよう申請します。

利用者番号	0	1	2	3	4	A	B	C	D
決済口座	金融機関名	全国銀行			金融機関コード	9	9	9	9
	支店名	東京支店			支店コード	0	0	1	
	口座種別	☒ 普通 ☐ 当座	口座番号	1	2	3	4	5	6
変更可能時期※	2	0	X	X	年	8	月		分

※「でんさい」を発生（手形でいう振出）する月。
後日、手形から「でんさい」への支払方法の変更開始時期等をご案内いたします。

「事例紹介」ページ

(画面イメージ)



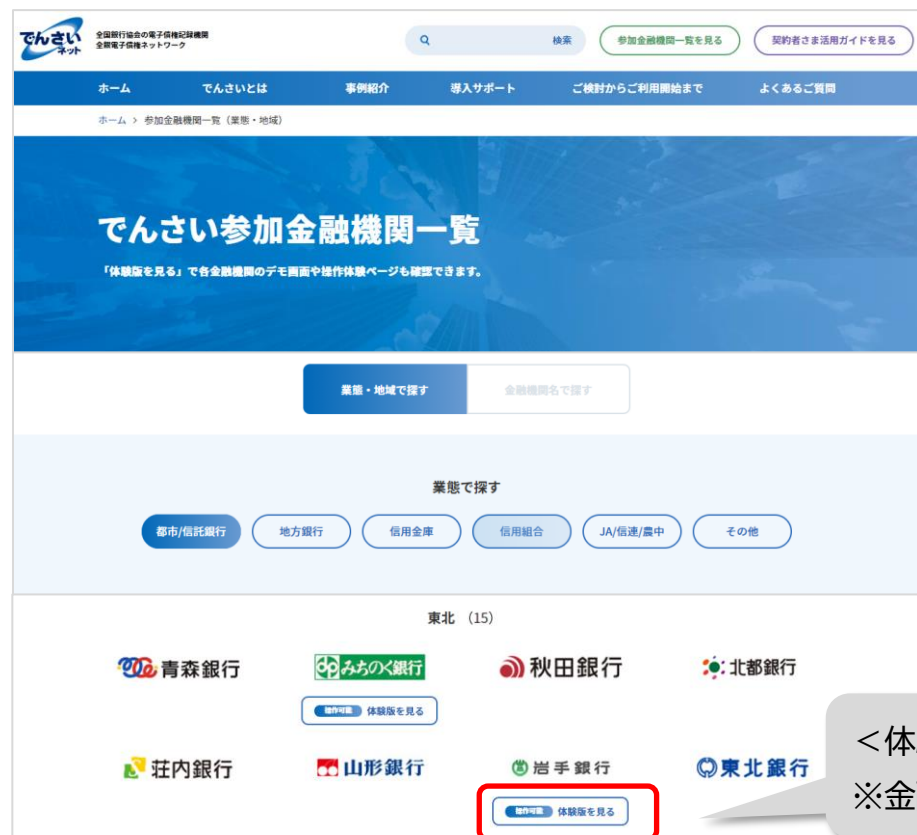
中小企業の導入事例を多数掲載中

貴社情報やでんさい利用情報等の掲載でPR効果も（掲載料無料）

- 中小企業をはじめとするでんさい利用企業の導入経緯や効果などを掲載しています。
- でんさい導入検討中の企業はぜひ参考にいただきつつ、すでに利用されている企業はウェブサイトへの掲載のご検討をお願いします。

「参加金融機関一覧(体験版)」ページ

(画面イメージ)



- でんさいのサービスを提供している金融機関一覧と操作体験版を掲載しています。
- **実際に取引金融機関の操作画面を確認いただけるので、**
でんさいの操作に不安をお持ちの方はぜひご利用下さい。

<体験版を見る>をクリックすれば、**金融機関が提供しているでんさいの操作画面の体験が可能※**
※金融機関によっては操作体験版を提供していない場合もあります

1

でんさいの利用までの流れ

2

利用準備(支払利用)

3

事例紹介(受取企業)

4

ウェブサイトの活用

5

よくある質問(支払企業)

■ 支払企業からの質問

質 問	回 答
でんさいの支払開始には、どのようなメリットがありますか？	でんさいの支払を開始すると、①コスト削減（手形の印紙税や郵送料が不要）、②事務負荷軽減（手形の管理、記入・押印）、③リスク軽減（手形紛失・盗難リスクの低減）といったメリットが享受できます。
手形を用いた高額な支払いの場合、手形を何枚かに分割してほしいと取引先に要望されますが、でんさいの場合はそのように複数発生（振出）させる必要はなくなりますか？	でんさいには譲渡・割引時に、 必要な金額だけ分割できる ので、発生（振出）の時点で複数に分ける必要はございません。